

講 演

會 長 演 說

會 長 山 本 勇

(昭和 18 年 4 月 30 日 於通常總會)

今回、會員多數の御推舉によりまして不肖私が本會會長に就任致しますことは非常なる光榮であります、決戦下に於ける本會の使命に鑑みましてその責任の重大なることを痛感する次第であります。

私は甚だ微力ではありますが役員諸君の御協力と會員皆様の御支援とに依りまして本會の國家的使命達成に向つて邁進する覚悟でありますから何卒宜しく御願致します度いと存じます。

本會は創立以來歴代役員並に諸先輩の熱心なる御努力に依りまして年々非常なる發展を遂げましたことは洵に御同慶の至りであります、今後は本會の諸事業が従来よりも一層有効に戦力増強に役立つことを第 1 目標として再検討し、比較的不急の事業は速かに之を中止し緊急を要する事業は直ちに之が實行に着手し、特に科學技術諸團體の能率的協力一致體制の實現が痛切に要望されつつある今日、本會の事業は之を他の關係諸團體の事業と総合的に考察し速かに有効適切なる措置を講ずべきであると信じます。

凡そ學會なるものは會員相互の知識交換に依り學問技術の水準を高むることを本來の目的として居りますが、今日の如き戦時下に於ては國家總力戦の一部面として團體的活動をなすことも亦大いに必要であると思ひます。

我が國に於ては最近科學技術の急速なる進歩を圖り、戦力増強を實現せしむるための対策として研究の連絡又は研究者の協力に關する數多の委員會其他の組織が各方面に新たに作られました、夫等の組織相互間に於ける連絡不充分なるため綜合効果を最高度に發揮し得ない感があります。

私は次に、現在各方面に於ける主なる研究協力組織の概觀を述べまして、夫等を相互に連絡する場合の御参考に供したいと思ひます。

科學技術に關する研究連絡組織として従来より存在するものに文部省の直接又は間接に運營する學術研究會叢及び日本學術振興會があり、前者は研究者の連絡、後者は研究の協力を主なる目的とし、兩者共、科學技術のあらゆる部門に亘る各種の委員會を運營し、且、

理學者と工學者との相互協力をその特長として居ります。

又、技術に關する行政機關として内閣直屬の技術院があり、尙、戦力増強に必要な我が國科學技術の推進並に生産擴充に關する最高方策を審議するため本年 1 月に科學技術審議會が設置されました。同審議會には 10 の通常部會と 3 つの特別部會とがあり、内閣總理大臣、陸海軍遞信各大臣等より諮問せられたる重要事項に對し答申することになつて居ります。而して電氣關係の第 3 部會には八木東京工業大學長が部會長に就任されました。

更に技術院の支援する協力團體として航空技術協會科學動員協會、全日本科學技術團體聯合會(全科技聯と略稱)があり、航空技術協會は航空技術に關する各種の研究協力委員會を統合運營し、科學動員協會は民間研究機關の振作並に連絡に對する方策として研究助成、研究關係法規及び研究項目の調査、中間研究機關の設置、文献の交換利用、研究用資材の配給、研究設備の利用、研究従事者の養成並に表彰、その他科學動員に關する全般的事業を行ふことを目的として居りまして、本年 3 月には研究協力委員會を設置しその中に 5 つの分科會を設けることになりました。

全科技聯は組成團體間の連絡強化を圖り科學技術報國の協力態勢實現に努めて居りましたが、最近は研究隣組の結成に主力を注ぐこととなり、本年 2 月に内閣總理大臣の助成指令に基き仁科芳雄博士を委員長とする研究隣組運營委員會を設けまして、研究項目の重點的選定、研究隣組の設定指導並に援助等を行つて居ります。現在までに設定されました隣組は數十に過ぎませんが將來は數百に達するであらうと豫想されて居ります。研究隣組の目標は直接研究に従事する研究者が協力して自發的に研究能力の向上を圖り且つ組員相互の錬成に依りまして日本の研究精神を確立することになつて居ります。

電氣三學會に於ては、電氣學術上特に緊急を要する研究事項の急速なる解決を圖るため各方面の研究能力を集中する方策を講じ國策の遂行に寄與する目的を以

て、昨年1月に科學動員協會と協同して電氣學術研究審議會を結成しまして、重要研究項目の選定、有力研究者の選定、研究の割當及び分擔、等の事業を行ふことになつて居り着々その目的達成に努めて居ります。就中、熱帯資料調査委員會に於ては極めて重要な成果を上げ、最近は研究隣組結成の轉旋並に重要生産技術に對する電氣技術の應用促進に努めて居ります。

同審議會はその設立當初、技術院の如き行政機關の協力組織として電氣學術技術に關する國策即應の活動をなすことが諒解事項として取り上げられて居りますから、今後はその本來の使命達成のため從來よりも一層有效なる事業を行ひ特に電氣三學會の研究協力組織の末端にまで科學技術に關する具體的の國家目的を透徹せしむべく努力する必要があると思ひます。

尙、電氣通信學會に於ては、昭和16年8月設立せられました電氣通信技術振興委員會の下に、綜合連絡、教育調査、電氣回路網、繼電器回路、電氣音響、テレビジョン、磁氣材料、に關する合計7つの部門委員會を運営して居ります。

又、電氣學會に於ては、昭和13年12月に設立されました技術委員會の下に、教育及研究、電氣理論、電氣測定、電子裝置、電氣機器、電力、照明、電氣鐵道、電氣通信、電氣材料、電力應用、に關する合計11の部門委員會を運営し、之等の各部門委員會の外、演算子法、高周波測定、真空管、放電管裝置、變壓器、遮斷機器、制御、遊清裝置、送電線用木柱強度、電氣絕緣材料試驗、工作機電氣設備、に關する合計11の専門委員會、及び、水力發電所設備、電力線搬送に關する2つの特別委員會が設けられて居ります。

更に、電氣學會その他各方面よりの援助之下に真空管専門委員會と連絡し、真空管關係技術を實際に擔當する熱心なる同志により昭和16年5月以來濱田成徳君等の轉旋に基く真空管同好會なるものが結成されて居りましたが、それが漸次極めて圓滿に發達致しまして遂に夫々の部門に分れ會員數も相當多數に達するに到りましたので、本年1月に之等を總括するため真空管研究協進會なる中間連絡機關を設立し、前述の各部門に總てこの機關を通じて全科技聯の研究隣組に編入されることになりましたが、この真空管同好會は全科技聯の研究隣組の結成並に運営上に極めて重要な示唆を與へたやうに承つて居ります。

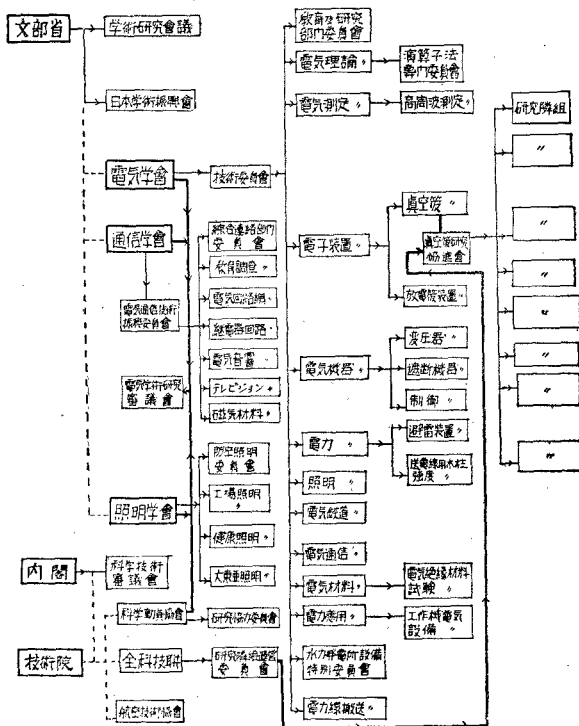
又、照明學會に於ては現在、防空照明、工場照明、健康照明、大東亞照明、に關する委員會を組織し戰時

下國家の要望する照明上の基礎的事項の解決に當つて居られます。

以上は電氣三學會及び關係諸方面に於ける研究協力組織の概要でありまして、茲に掲げました系統圖によりまして御解りの如く、現状に於ても相當に複雑であり且つ將來益々複雑になる傾向にあります。

電氣三學會主要研究協力體制系統圖

(昭和18年4月現在)



而して之等の各組織は夫々相異なる性格を有し又その目的及事業も具體的には種々異なつて居りますが、何れも戰力増強に寄與すべき科學技術の協力推進を共通の目的として居るわけでありまして。

從つて電氣三學會はこの際夫々の事業を綜合的に再検討し、從來よりも一層有効に國家目的に副ひ得る如き總力體制を確立することが急務であると信じます。

併しながら、研究協力の目的は單にその組織の改善のみに依り達せらるるものではなく、各人の強烈なる國家意識のもとに協力を實行することを先決條件とすることは言ふまでもありません。

而し、組織が適切でない場合には人的並に時間的に不經濟となり協力效果の能率低下を來すのみでなく、他の重要な任務遂行上の妨害となる恐れがあります。之が電氣通信學會會長に就任致しまする機會に電氣

三學會並に關係諸團體に對し深基なる考慮を御願する所以であります。

次に私は、電氣通信に關する學問技術並に教育について一言致します。電氣通信工學は數學的取扱を必要とする分野を多分に含んで居りますが、これを實際に應用する製造技術に於ては機械及び化學等の知識をも大いに必要と致します。尙、通信機器の多量生産が國家の切實なる要望となつて居る今日の時局に於ては、理論的方面の研究と共に製造技術に關する實際的研究を特に重視すべきであると信じます。

本會は電氣通信用品規格委員會の下に、合計 10 の委員會を運営して居りますが、規格制定は多量生産の第 1 要件でありますから、本會としては重點主義によりまして急速に重要規格を制定し且つこれが軍官民の區別なく廣く一般に採用せらるるやう適當なる方策を講ずる必要があると思ひます。

最後に電氣通信技術者の教育につきまして簡単に申述べます。最近電氣通信機器製造工業の急激なる發展に伴ひまして、これが擔當技術者の要求は洵に深刻なるものがありますが、その教育施設は甚だ不充分であります。特に需要量の最大なるは中等工業學校卒業程度

工業學校の内、電氣通信科の設置されて居る學校は從來殆んど皆無といふ状態でありました。

然るに今般文部省が中等學校の規程改正を行ふに際し、中等工業學校に設置さるべき電氣關係の標準學科として、電氣技術全般を履修せしむる電氣科と共に電氣通信技術を特に履修せしむる電氣通信科を採擇しましたことは洵に適切なる措置でありまして御同慶に存じます。

本會としては今後適當なる地域の中等工業學校に多數の電氣通信科が設置せらるるやう具體的方策を講ずると共に、教育實施上の經驗少き同學科の教授内容並に教授方法等を適正ならしむるための必要なる指導援助をなし、これが圓滿なる育成發展を圖るべきであると信じます。

尙、今年 4 月より長野(官立)、岐阜(縣立)、愛知(縣立)、大阪府立堺、大阪市立都島、東京府立航空の 6 高等工業學校が新設開校されましたが、その内長野には通信工學科が設置せられ從來の米澤、濱松、山梨、多賀を加へ合計 5 校に及びましたことは慶賀に堪えません。

茲に、會長就任に際し聊か所感を述べて會員諸賢の御指導と御支援助とを念願する次第であります。

御靜聽を感謝致します。